

事業性評価への取組

Efforts to evaluate projectability

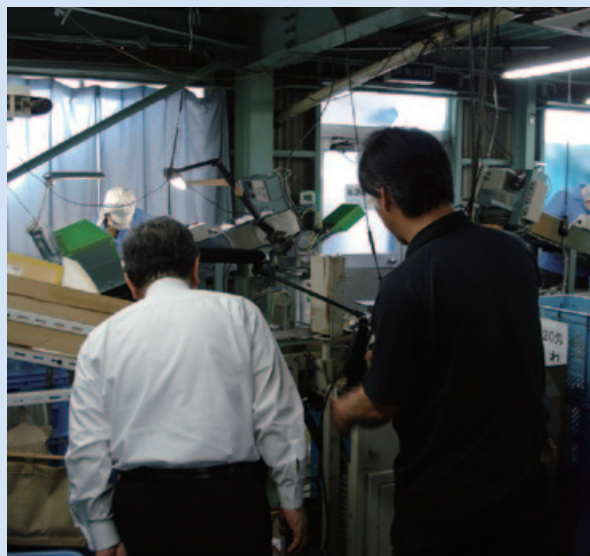
「事業性評価」とは・・・

財務データや担保・保証に必要以上に依存することなく、取引先企業の事業内容や成長性、市場の動向などを適切に評価して行う融資のことです。

取組事例

● 「企業の潜在価値分析セミナー」を開催

(有)ツトム経営研究所所長森下氏を講師に迎え、企業の潜在価値を「見える化」し「事業価値を高める経営レポート」を作成、取引先企業の経営力強化を図ります。金融支援のみに留まらない本業支援の一環です。当金庫職員も参加させていただき、お客様の潜在価値を学ぶことでお客様をより深く理解することに繋がりました。



講師プロフィール
もりした つとむ
森下 勉氏

医薬品メーカーに27年間勤務後、平成12年に独立。平成14年に(有)ツトム経営研究所を設立。中小企業の経営戦略立案、情報化戦略の推進支援、ISO認証支援のほか、知的資産経営支援に関する第一人者として豊富な支援実績をもとに多方面で活躍中。経済産業省と金融庁が進めている事業性評価ツール「ローカルベンチマーク」の構築と周知にかかわっている。「顧客を知る」がキーワード。

お客さまからの声

Q.1 「企業の潜在価値分析セミナー」を受講して感じた点を教えてください。

A. 今回、3日間のセミナーを受講し、弊社の各工場で営業から配送までプロセスに沿って長所、短所等を見つめ直すことができ、非常に有意義な時間を過ごせました。また工場見学により、在庫管理の改善方法を指導していただき、今後の業務に活かしていきたいと思えます。

Q.2 「事業価値を高める経営レポート」をどのように活用されましたか。

A. 営業、製造、経理等多くの社員を参加させていただき、各部門の意見を交換し、森下先生にまとめていただいた経営レポートは弊社にとって有意義なものでした。経営レポートを参考に社内で情報共有を行い、社員の意識改革・弊社の発展に繋がりたいと考えています。